

昭和63年

3月1日号

No. 515

広報

南七

- 芦屋市の人口と面積

—昭和63年2月1日推計人口—

人口総数 88,775 世帯数 31,741

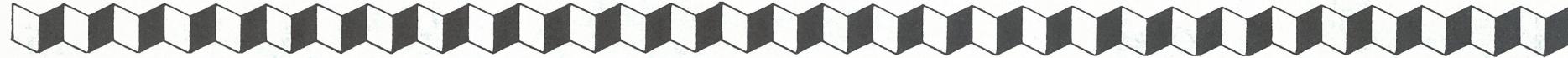
男 41,753

世帯数 31,741

女 47,022

面 積 17.31km²

発行 芦屋市役所(公聴広報課) 0797-31-2121
兵庫県芦屋市精道町7番6号 毎月1日・15日発行



都市と文化

～芦屋とモダニズム～

1920 ▶ 1940

たでく 谷崎潤一郎『蓼喰ふ虫』

(改造社)

初版本 昭和4年(1929)発行

装丁：小出樺重（こいで・ならしげ）

たにざき・じゅんいちろう=明治
19年（1886）生まれ。作家。昭和
9年から11年まで芦屋に住み『細
雪』や『猫と庄造と二人のをんな』
などで、昭和初期の芦屋を描く。
昭和40年（1965）没。『蓼喰ふ虫』
は42歳のときに「大阪毎日新聞」
(挿絵は小出栄重)に連載。

していた富田碎花の友人として草屋にきたらしい。富田碎花は、菖蒲屋を短歌にも詠み込んでいるが、記念館に残っている旧居は谷崎潤一郎が住んだ家である。谷崎はここで松子夫人と結婚

とはじまり「たま
たま逢うよろこび
は、尾がちぎれる
ぞよ」と続く。芦
屋に住んでいた私
は、この芦屋の字
を見てうれしかつ
た。中川氏は、ホ
イットマンの詩の
訳者としても一世
を風靡（ふうび）

彦田の家へ行け
三郎が出てくる
一年芦屋で暮し
たばくを
わすれないで
三郎よ
よくふとりたり
な

近代文学と芦屋

詩人 杉山平一

今回でこのシリーズは終わります。



潤一郎も住んだ富田砕花旧居（宮川町）

芦屋は、業平橋や猿丸太

『源氏物語』の現代語訳、『猫と庄造と二人のをんな』を書いた。そして『細雪』

「広報あしや」は、あなたのまちの広報委員さんの手でご家庭にお配りしています。

春休み親と子の施設見学会

参加者募集

海から芦屋を見ませんか



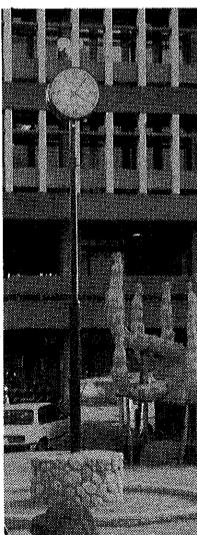
- ▶日時…3月26日(土)午前9時20分~午後3時
- ▶見学場所…市役所(集合午前9時20分)→図書館→県立海洋体育館→市民センター(昼食)→朝日ヶ丘会所(文化財触覚模型・周辺古墳見学)
- ▶対象…市内在住の小・中学生とその保護者
- ▶定員…親子20組(40人)。先着順
- ▶費用…無料。昼食は各自でご用意ください
- ▶申し込み…3月3日(木)から、電話で市公聴広報課(☎②2121内線227)へ

高齢者阪急バス料金半額助成

証明証の切り替え

- ▶助成額…バス代の半額(十円未満は利用者負担)
- ▶利用方法…降りるとき高齢者証明証を提示して本人負担分を支払う。
- ▶定期・回数券は対象外。
- ▶申し込み手続き…「更新のかた」現在使用中の証明証を持参ください。
- ▶新規・紛失のかた…老人保健の医療受給者証と印鑑を持参。
- ▶申込場所…市福祉事務所(消防署南側)
- ▶問い合わせ…市高年福祉課(☎②2121内線338)

時計塔などを寄贈いただきました



- このたび市では、芦屋平ライオンズクラブ(会長山村哲男氏)から時計塔(カラーテレビ・レビ・消防)が贈受けました。

足記念としていたただいたもので、時計塔は市役所前広場に、カラーテレビは芦屋病院にそれぞれ設置し、消防査察車は市消防本部で緊急時の情報収集車として活動していくことになっています。

教育委員会からのお知らせ

市教育委員会総務課(☎②2121内線503)

市奨学金受給生の募集

経済的な理由などで就学が困難な人を対象に、六十三年度の市奨学金受給者を募集します。

▼応募資格…①高等学校、高等専門学校、大学、盲学校、ろう学校および養護学校の高等部もしくはこれに準ずる学校に在学し、学校長の推薦がある

人、②市内に住居を有する人の子女、③ほかの奨学金の貸与もしくは給付を受けていない人(大学

生はさしつかえありません)、④保護者の年間所得が基準額に満たない人

▼申し込み…3月31日(木)までに市教育委員会総務課へ

お子さんが私立・国立の小・中学校へ就学される場合は、事前に市教育委員会への届け出が義務づけられています。

保護者の場合は、入学許可書と印鑑を市教育委員会へご持参ください。

園在園者は市教育委員会総務課へ

私立幼稚園児の補助申請受付

お子さんが私立・国立の小・中学校に通学している児童・生徒の保護者

に、通学費の一部を助成する

お子さんが私立・国立の小・中学校に通学している児童・生徒の保護者

に、通学費の一部を助成する</

